

彩湖

だより

S A I K O

自然の美しさに感動しよう！
自然のふしぎを見つけよう！



自然の美しさ、自然に生きる生物たちの姿に感動していただき、自然環境を保つことの意義を理解していただきたいと考えています。身近な自然環境について学べる当学習センターにぜひご家族でお出かけください。

自然を知って★学んで★守ろう!!

自然を守るための第一歩は知ることです。まずは身近な自然について知ることから始めてみませんか。

環境 保全



トダスゲ

都市化の進展にともなう身近な自然環境の悪化が今、心配されています。戸田市も例外ではありません。こうした背景の中、彩湖自然学習センターでは、ここを訪れる市民の方々が身近な自然に親しめるよう環境保全に努めています。

具体的な活動として、絶滅が危惧されている植物の保護育成や日本(地域)固有の生物保護のために外来動植物の駆除を行っています。保護育成している植物として、トダスゲ、サクラソウ、タコノアシ、チョウジソウ、ミゾコウジュなどがあります。また、駆除している外来動物は、カムルチー(ライギョ)、ブルーギル、ウシガエル(食用ガエル)などです。外来植物として、オオブタクサ、セイタカアワダチソウが挙げられます。この他に、様々な生物のすみかやエサなどになっているアシ原や草原もできるだけ自然の状態を保ちながら整備しています。

今年度より戸田市が中心となり「戸田ヶ原自然再生事業」が本格的に始動しました。これは、市民の方々とともにサクラソウなど野生の草花が彩る湿地の再生を目的とする事業であります。当センターもこの事業への支援を積極的に行っていきます。環境問題に取り組んでいくためには、私たち一人一人が環境とのかかわり方について理解し、環境に配慮した生活や責任ある行動をとることが必要であります。



カムルチー



オオブサモ

生物紹介

上の記事でも紹介しましたが、センターには絶滅の危機にある植物がたくさん生育しています。その一部を紹介し、絶滅の危機にある植物やその植物が減ってしまった理由について知ること、身近な環境について考えるきっかけになればうれしいです。



★ミゾコウジュ

淡い紫色の小さな花をたくさんつける。冬にみられるロゼットは表面の脈がへこみ細かいしわがあって特徴的。

生育地：田んぼの畦や河川敷などの湿っているところ

見ごろ：5~7月



★チョウジソウ

すっと伸びた茎の先に水色の清楚な花を咲かせる。名の由来は花を横から見ると「丁」の字に見えるからだとか。

生育地：川のそばのやや湿った草地
見ごろ：5~6月



★タコノアシ

花序に花や実がつく様子が吸盤の多いこの足のようなので、この名がついた。秋に赤くなる姿は、まさに茹でたこの足。

生育地：泥湿地、河川敷、休耕田などの湿っているところ
見ごろ：花6~7月/実10~11月

Q これらの植物はどうして数が減ってしまったのでしょうか？

お答えしましょう…

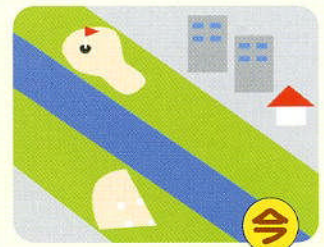
それは、生育に適した環境が減ってきたからです。昔の川は洪水がよく起き、そのたびに川の流れが変化し、川の周りは湿った環境が広がっていました。



こみみあく先生



昔



今

しかし、今では洪水が起きないよう水の量は管理され、河川敷は湿った環境が激減してしまいました。さらに、人が周辺を利用しやすいよう川はまっすぐになり、ゴルフ場や公園へと整備されていきました。

絶滅の危機にある植物をこれ以上減らさないためには、今残されている環境を守ることや失った環境を復元・再生することが重要です。

彩湖自然学習センターは植物や昆虫の営みが観察できるフィールドと、じっくりと知識を深められる常設展示から、自然について知ることができる施設です。また、学校との連携や観察会などの講座を通じて、より多くの方々に自然の美しさ・ふしぎさを伝える活動をしています。

環境を知る手がかり

館内の展示で自然の不思議を見つけよう

常設展示では、荒川をテーマに魚類や鳥類、昆虫や植物等の生態の展示や説明、彩湖の役割等の説明を見たり聞くことにより、環境を知ることができます。

* 水中のふしぎ

荒川にすむ生き物のようすを観察することができます。



* 草原・湿原のふしぎ

草地や河原などでの生き物のようすを調べることができます。



* 水辺のふしぎ

水辺の生き物のようすや生き物どうしのつながりを知ることができます。



* 林のふしぎ

木のまわりで生きる生き物のようすや生きるための工夫を知ることができます。



彩湖自然学習センターと学校連携

学校教育法の義務教育目標の一つに『学校内外における自然体験活動を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養う』とあります。近年、さまざまな環境問題が深刻化する中で、環境教育の重要性がますます高まっています。環境教育といっても非常に幅広い分野であります。そこで、彩湖自然学習センターでは、特に子どもたちが生態系の仕組みや、自分たちの暮らしが自然界の微妙なバランスに支えられていることに気づいてもらうことをめあてとして自然体験学習を行っています。

センターでの学習は、主にフィールド(野外)で「植物観察」「昆虫観察」「野鳥観察」「水辺の生き物観察」の4コースに分かれて行っています。「植物観察」では、その季節に見られる代表的な植物の名前、特徴等をセンター職員が説明し、子どもたちはワークシートにスケッチしながら気づいたことを記入していきます。「昆虫観察」は、子どもたちが昆虫を手にとって観察したりスケッチしたりしながら、体のつくりや特徴を捉えます。また、「野鳥観察」では、彩湖で見られる野鳥を双眼鏡やフィールドスコープを使いながら本格的に観察します。「水辺の生き物観察」は、センター西側にある3つの池やその周辺にすむ魚やオタマジャクシ、アメリカザリガニ、昆虫などの観察を行っています。これらの活動を季節を変えて行うことで、季節と動物の活動や植物の成長の関わりについて理解を深めています。

具体的な体験や事物との関わりを通して、感動したり、驚いたりしながら、「なぜ、どうして?」と思考を深め、実際の生活や社会、自然の在り方を学びながら自然環境を保護する心を育てることが、子どもたちの「生きる力」をはぐくむ基盤となることと考えています。

彩湖自然学習センターでは、年間30回以上、各種講座を行っています。内容は子ども向けや一般向けなど様々ですが、どの講座にも共通しているのは彩湖の自然を活かした内容であることです。自然とのふれあいが少なくなっている現代、自然の中での活動や、自然の恵みを利用した工作などを通して、自然の大切さや環境を考えるきっかけづくりになれば…それが彩湖自然学習センターの講座の役割だと思っています。ここでは、講座の内容を少しだけご紹介します。

自然観察会・野鳥観察会

一般向けの講座です。植物、昆虫、野鳥、それぞれ講師の先生をお招きしての観察会です。植物が芽吹く春は、食べられる野草を探して味わいます。昆虫が元気な夏から秋は、草むらや林で虫探し。鳥を見つけやすい冬は、毎月野鳥観察会があります。その季節ごとに、彩湖の旬の自然を楽しむことができます。知識の豊富な講師の先生との観察会は、自然観察の視点がとても勉強になりますよ。



こども自然観察教室

小・中学生対象の講座です。親子の講座とはまた違った、子どもたちの表情があります。野原での草花遊びや落ち葉の壁掛けづくりでは、「植物の面白さや美しさに気づくといいな。魚の壁掛けづくりは、「生きた魚をじっくり観察して、それを紙粘土で表現できるかな?」ミクロの世界をのぞこうでは、「肉眼では見えない小さな世界の面白さを、顕微鏡で味わってほしいな。」など、どの講座も子どもの自主性を大切に、自然への気づきや発見につながる内容を心がけています。



親子ふれあい教室

親子対象の講座です。彩湖で採れる自然の材料を使った、作品づくりを中心にしています。オギの穂を使ったミニスクづくり、つるや木の実を使ったクリスマスリース、道満の竹で竹細工など、季節ごとに集めた身近な材料を工夫して、親子で作品づくりを行います。大きな工作! ?として人気なのが、秘密の基地づくり。アシ原に分け入り、大きな基地を作るのですが、これが大変! …でも楽しくて、大人も子どもも汗をかきながら、夢中になって活動しています。



こども自然クラブ

センターの講座で唯一の会員登録制の講座です。H21年度は小学3年生から中学1年生まで、24名が活動しました。自然観察や生きもの調査、竹や落ち葉を使った工作などを行いました。自然の中で遊ぶことや、生きものが好きな子。年齢も学校も様々な仲間たちと、楽しく遊びながら、観察する目を養ったり、自然の仕組みや身近な環境問題を知ったり…。そして、『自然ともっと親しくなろう!』そんな目標で活動しているのが、こども自然クラブです。



ご利用案内

- **開館時間** / 午前10時から午後4時30分まで
- **休館日** / ①月曜日
(ただし、この日が第1・第3月曜日と休日に当たるときは除く)
- ②年末年始 (12月29日~1月4日の7日間)
- ③館内整理日 (毎月末日)
(ただしこの日が土曜日・日曜日・休日に当たるときは除く)
- ④その他教育委員会が必要と認めた日

● **入館無料**

交通案内

■ お車ご利用の場合

- ・ 東京外環自動車道 戸田西ICより約0.5km
- ・ 新大宮バイパス 美女木交差点より約1km

■ 電車ご利用の場合

- ・ JR 武蔵浦和駅から下笹目行きバス

「修行目」バス停下車徒歩8分



彩湖自然学習センター

〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地 TEL048-422-9991 FAX048-422-9993
URL <http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html> E-mail kyo-saiko@city.toda.saitama.jp